

麻生田小だより

NO. 14 令和3年3月24日 文責 校長 木下浩文

【教育指針】 礼・学・体

【校訓】 かしこく 強く 美しく

【教育目標】 「礼・学・体」の調和のとれた子どもの育成

【学校経営スローガン】 安全・安心で毎日来たくなる学校

感動の卒業式 85人の巣立ち



3月23日に卒業証書授与式が行われ、6年生85人が麻生田小学校を巣立ちました。多くの保護者のご臨席のもと、厳粛な中にも感動的な卒業式となりました。6年生は担任の先生から一人一人名前を呼ばれると、大きな声で返事をしてステージ中央へ進み、卒業証書を受け取りました。コロナ対策のため合唱や呼びかけはできませんでしたが、事前に収録したビデオメッセージで一人一人の顔が大きくスクリーンに映し出され、6年間の思い出を力強く発表してくれました。5年生もビデオメッセージで6年生への感謝とエールを送りました。退場後には保護者向けに子どもたちの自作動画が放映され、6年生の楽しそうな活動と笑顔に職員も保護者も感動が高まりました。コロナ禍でも感動的な卒業式となりました。

卒業式 校長式辞より（抜粋）



（前略）休校の中、皆さんは6年生となりました。登校日に何とか始業式はできましたが、その後、全国緊急事態宣言が発令され、結局臨時休校は三か月に及びました。6月に学校は再開しましたが、感染防止のため、不自由な学校生活を強いられました。しかし、皆さんは最高学年としての自覚と責任感を持って活動してくれました。十月開催となった運動会では、徒走やリレー、団体競技、応援団で麻生田小の元気な姿を保護者や地域の方に披露してくれました。なんとか実施できた長崎修学旅行では、フィールドワークや被爆者の方の講話、原爆資料館の見学を通して、戦争の愚かさを痛感し、命の大切さ、平和の尊さを学びました。全世界がコロナウイルスで混乱している中、平和であることの大切さが特に身にしました。

そして迎えた今日の卒業式。合唱も呼びかけもできませんが、このように卒業式ができることを本当にうれしく思います。皆さんはこれから中学校に進学し、夢や目標の実現に向かって力強く進んでいくことでしょう。卒業する皆さんに贈る言葉は、やはり「あそだ運動」の「挨拶、掃除、誰とでも仲良く」です。心を込めて挨拶すると、友達ができます。また、気持ちのいい子だと思われ、周りの人に可愛がってもらえます。心を込めて掃除をすると、心が磨かれます。また、信頼できる人だと思われ、いろいろな役割を与えてもらえます。誰とでも仲良くするためには自分の気持ちや考えを、心を込めて言葉で伝えることが必要です。そうすると自分のことを理解してもらえ、争いごとを避けることができます。熊本地震や新型コロナウイルスによる休校を経験した皆さんは、学校生活に来ることができる、友達に会える幸せを実感しました。コロナ禍はしばらく続きますが、中学校でもあそだ運動を継続し、さらに成長してくれることを期待しています。（中略）

6年生の皆さん、さあ旅立ちの時です。名残は尽きませんが、卒業生の皆さんが中学校生活において、麻生田小学校の校訓にあるように「かしこく 強く 美しく」進んで行くことを祈念して、式辞といたします。

4月の学校行事

- 9日(金) 就任式、始業式
- 12日(月) 給食開始
- 13日(火) 入学式
- 15日(木) 安全点検
- 16日(金) 学級懇談会
- 19日(月) 1年生給食開始
- 20日(火) 家庭訪問～27日
- 28日(水) 授業参観



修了式を迎えて

3月24日に修了式を行い、体育館で5年生の代表に修了証を手渡しました。熊本地震の復興が進み、令和に改元され、新しい時代の到来に胸躍らせていましたが、新型コロナウイルスの感染拡大で予想もしない1年となりました。「安全・安心で毎日来たくなる学校」を学校経営スローガンに掲げて全職員で取り組んでまいりましたが、コロナ禍でいかに児童の安全安心を保障し、教育活動を実施するか、試行錯誤の1年でした。無事に卒業式、修了式を迎えることができ安堵しています。子どもたちや先生たちの頑張り、保護者や地域の方のご協力に心から感謝いたします。ありがとうございました。